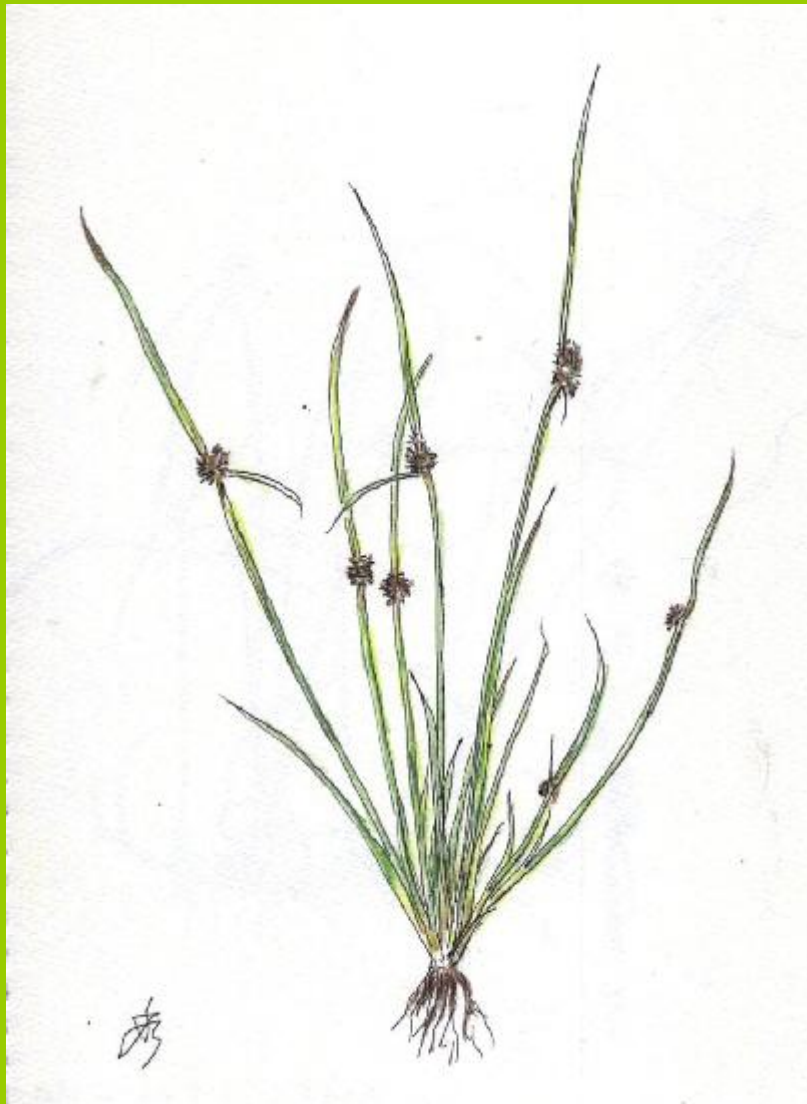


見ぬま田んぼ・野草スケッチ「タマガヤツリ」珠蚊帳吊

分類、科：カヤツリグサ科 属：カヤツリグサ属

花言葉：不明



この草を採集したのは、2015年10月12日と記録されています。場所は、東浦和公園近くの田んぼのあぜ道で採集しました。この絵のタマガヤツリは秋となり涼しくなった時期に芽生えたため成長が遅く小型の状態のようです。夏うちだどくす球状のところから葉が1,2本真っすぐか横に伸びて繁茂するとのこと。



「タマガヤツリ」

世界：	全世界の熱帯から暖温帯に分布する。日本ではほぼ全土。
生育地：	湿地に生え、よく水田にも生えている。晩秋に発芽したものは、10センチメートルにも満たないととても小さな姿のまま穂を出すことがあります。
茎 丈：	25-60cm、カヤツリグサ属としては中型、花茎は直立、根本の鞘は紫
葉	幅 2-5mm、真っ直ぐに伸びる。
花期：	8～10月
花・花色：	花序は花茎の先端に一つだけつく。小穂が並んでいるが軸が短いので全体は丸っこいくす玉状。花茎の先端に数個集まり、さらに枝を出してその先にも球がつく。苞葉は真っ直ぐ伸び、横にも伸びる。
種子：果実	小穂は線形、長さ3-10mm、幅 1mmと小さく、暗紫褐色を帯びる。
特徴：	タマガヤツリもタネの寿命がとても長く、湿った土の中で10年、乾燥すると15年以上生きると言う。
由来	
写真と一覧表はWikipedia からお借りしました。 21.10.6	